

2017年6月27日

報道各位

全国段ボール工業組合連合会

**物流問題についての取引先への要請文書発信のお知らせ**

全国段ボール工業組合連合会(以下：全段連、理事長：大坪 清)は、このたび別紙『段ボール業界における物流問題について』を作成し、会員各社に発信することになりましたのでお知らせいたします。

昨今、宅配業界をはじめ、さまざまな業界で「物流危機」が社会問題化しつつありますが、段ボール製品の配送においては手荷役が多いなど労働条件が厳しいため、段ボール業界におけるドライバー不足が特に深刻になっています。

当連合会では、平成26年11月に生産性向上委員会(TFPコミッティー)を発足し、全要素生産性(TFP)の向上を通じた労働時間の削減等に取り組んで来たところ、本委員会において新たな喫緊の課題として物流問題を取り上げることとなり、今般当文書を会員各社に発信し、会員の組合員企業が自主的判断により物流問題の改善に努めることを期待するものです。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

全国段ボール工業組合連合会      TEL : 03-3248-4851

2017年6月27日

お取引先様 各位

## 段ボール業界における物流問題について

全国段ボール工業組合連合会

平素は、当業界及び会員各社に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨今、宅配業界の「物流危機」が社会問題化しておりますが、段ボール業界においても同様に、物流問題が顕著化しております。

運送業界の中でも、段ボール製品の配送に携わるドライバーは、手荷役が多いことや、長時間にわたる拘束など労働条件が厳しいため、なり手が減少しており、特にドライバー不足が深刻になっています。このままでは、お取引先様への段ボール製品の供給に支障をきたす可能性があり、段ボール業界としては配送ドライバーの労働条件の改善を進めることが喫緊の課題となっております。

現在、配送ドライバーの長時間労働の要因は、長時間におよぶ荷降ろし待ち（手待時間）、荷役作業以外の付帯作業、配送時間指定、小ロットでの多頻度納品などであり、労働条件の改善にはお取引先様のご協力が不可欠でございます。

業界では、将来にわたり段ボール製品配送の担い手を確保するため、会員各社が各々「働き方改革」を進め、配送ドライバーの労働時間短縮につなげるように一層の改善努力をして参ります。

お取引先の皆様におかれましては、段ボール業界が直面している深刻な事態をご理解、ご賢察賜り、格別なるご高配を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

以 上